

公社等外郭団体の経営状況等の評価に係る評価シート
【公益法人用】

団体名称	(公財) 千葉県消防協会	所管所属名称	防災危機管理部消防課	評価実施年度	令和6年度	※1【説明】は評価をつけた側が理由等を記入し、【コメント】は評価をつけた側の採点結果及び説明を受けて評価をつけていない側が所見を記入しています。	
評価の視点	評価項目	評価配点	調査票該当番号	団体による評価		所管所属による評価	
				評価点	説明又はコメント※1	評価点	説明又はコメント※1
1 県関与の必要性	① 当初の目的を踏まえつつ現在において必要性を問い直してもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4		【コメント】 協会の役割を自覚し、県の事業への協力、県の施策を補完する事業の実施に努めていく。 また、経営の健全化に努めていく。	1	【説明】 県が消防防災行政を推進する上で必要不可欠な団体であり、出資を維持する意義はあると思われる。 出資又は出捐関係を持つことは、消防職・団員に対する福利厚生、弔慰救済などについて効果がある。 関与方針に沿った取組については、経費節減の方策を引き続き検討していく必要があると思われる。また、消防会館の利活用及び今後の処分方針についても、計画的に検討を行う必要があると思われる。
	② 類似団体や民間団体などの他の担い手が存在している場合においてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい又は類似団体等は存在しない。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4			1	
	③ 県が自ら施策を実施することその他の事業手法と費用対効果を比較して、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4			1	
	④ 将来見通しを踏まえた、現状の県関与の必要かつ妥当な水準・方法	1点：水準・方法の維持や拡大が適当である。 0点：水準・方法の縮小や拡大、見直しを検討中である。 ▲1点：水準・方法の廃止検討や縮小、変更を行っている。	全体			1	
	⑤ 県が定めた関与方針（策定済みであれば経営健全化方針を含む）に沿った取組	1点：概ね順調に進捗している。 0点：進捗していない部分がある。 ▲1点：主要な部分が進捗していない。	5 5－2			0	
2 経営体制	① 「理事会等の開催・運営」や「財務諸表等の作成・公表・備置」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1	【説明】 法令等に基づく団体経営及び効果的な人材の活用等に努めていく。 ③について、現会長は選定当時から市議会議員であったが、同時に消防団長であり、団体役員であった。会長は民間人材から選定することはできないということはない。 ④について、高齢化への対応としては中期的には職員（非正規を含む）の新陳代謝を図っていく。 ⑤について、必要に応じて中期的な経営や人事の方針を策定していく。		【コメント】 直近の監査では注意、指摘事項はなく、協会として適正に運営されている。 役員・人事体制の見直しについては、経営、人事の中長期的な計画、又は方針策定の検討が必要だと思われる。
	② 「監査」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて又は外部的な監査を行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1			
	③ 役員（監事・監査役を除く）への民間人材等（民間人材及びプロパー）の起用	1点：経営責任者に民間人材等を起用している。 0点：経営責任者ではないが民間人材等を起用している。 ▲1点：民間人材等は起用していない。	8	0			
	④ 人員体制の将来見通し	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	8	0			
	⑤ 中長期的な経営計画や達成目標となる指標の達成状況	1点：概ね達成できている。 0点：達成できていない部分がある。 ▲1点：策定していない又は主要な部分が未達成である。	9	▲1			
3 財務状況	① 債務超過の状況	1点：直近3年間はいずれも債務超過ではない。 0点：直近3年間に債務超過の年度があった。 ▲1点：直近の決算は債務超過である。	10	1	【説明】 引き続き経営の効率化・健全化に努めていく。 ⑤について、旧消防学校跡地の千葉県消防会館については、解体までの間、資機材等の管理・保管の場や、消防関係者の打合せ等の会議室として活用していく。併せて解体費用の財源確保について検討していく。		【コメント】 財務状況は安定的であるが、将来的には、消防会館の処分に係る財源確保が課題となっている。自主財源の増加などの収支改善と消防会館の今後のあり方も含めて、連携した取組の検討を行いたい。
	② 収入全体の状況 【公益法人用の評価項目】	1点：事業継続に必要な収入は確保できている。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	12	1			
	③ 基本財産の状況 【公益法人用の評価項目】 ※繰越損益相当額がマイナスの場合、対前年度比で改善0点、同額又は悪化▲1点	1点：直近3年間はいずれも減少していない。 0点：直近3年間に減少した年度があった。 ▲1点：直近の決算は減少した。	10	1			
	④ 経営健全化の必要性	1点：経営健全化方針の策定要件に該当しない。 0点：要件に将来的に該当する可能性がある。 ▲1点：要件に該当する。	5－2	1			
	⑤ 財務状況の将来見通し ※経営健全化方針を策定している団体は、現時点の中長期的な収支予測比で、上回る1点、概ね予測どおり0点、下回る▲1点	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	全体	0			
4 県からの支援	① 県からの人的な支援の状況	1点：人的な支援は受けていない。 0点：人的な支援を受けている。 ▲1点：県が給与等を負担する人的な支援を受けている。	4、8	0	【説明】 県の防災行政に資する事業を引き続き実施していく。 ①について、県との連携は必要であり、引き続き県からの人的支援は必要と考えるが、効率的な人材の活用等に努めていく。 ④について、運営費補助がないと協会の運営が成り立たない。		【コメント】 県と連携するうえでも経験豊富な人材の活用は、効率的、効果的な事業を行うためにも必要だと思われる。 県の地域防災力の向上のためには、団体の存在は必要不可欠であり、運営費補助は必要である。
	② 経営難を理由とした県からの借入金残高の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1			
	③ 経営難を理由とした県による損失補償等の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1			
	④ 運営費補助や赤字補填等を目的とした県からの財政的な支援の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	▲1			
	⑤ 経営難を理由とした県の追加出資又は出捐の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	1			

評価の集計結果等			
評価の視点	基準点※2	評価点	評価点数
	①	②	①+②
1 県関与の必要性	5	4	9
2 経営体制	5	1	6
3 財務状況	5	4	9
4 県からの支援	5	2	7

※2「基準点」は、超えていなければ、その評価の視点は改善が望まれる状態を意味する点数で、団体の強み、弱みを把握して改善を図る際に、参考にしてもらうことを期待しています。

総務課による総括コメント
一部を除き経営状況等について問題がある事項は、特設見受けられない。関与方針に基づき団体と県で連携して経営改善を進め、引き続き、団体の設立目的や県が関与している意義に沿った事業展開を図っていただきたい。事業の実施に当たっては、業務量の変化に応じた効率的かつ弾力的な対応が可能な人員体制となるように努めていただきたい。 なお、中長期的な計画又は達成目標となる指標をいずれも策定していないが、課題である消防会館の処分に必要な金額の積立に関する数値目標の設定を、選択肢の一つとして検討いただきたい。 また、運営費補助を県から受けているが、団体の特殊性を踏まえると、現時点ではやむを得ないものとする。

